

学年	教科	教材
3年	美術科	美術2・3（日本文教出版） 美術資料（秀学社）・スケッチブック・鉛筆・アクリル絵具・色鉛筆

1・学習の目的

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表す力をつける
- ・表現意図にあう多様な表現方法を工夫し、美しく表現する力をつけ、見方や感じ方を深める
- ・創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

2・学習の方法

- ・授業の準備、片付けや提出物など、基本的な規律を守り、真剣に授業に取り組む
- ・真剣に作品と向き合い、自分が表したい表現を試行錯誤しながら見つけ、根気よく制作に取り組む
- ・自然や画家、友達が描いた作品からメッセージを読み取り、感じたことを根拠とともに自分の言葉で表現する
- ・授業のねらいや制作方法をしっかり押さえ、美術についての基礎知識を習得する

3・評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	【活動状況】【鑑賞ワークシート】【作品における感想】知識を活動に生かし、様々な表現に結びつけることができるかを評価する。【定期テスト】では用具の取り扱いや特製の理解、作品や製作方法についての知識理解の深さを判断する。
思考力・判断力・表現力	【制作の下絵（アイデアスケッチなど）】【途中作品や完成作品】【ワークシート】から自分らしいイメージを様々な角度から考えられているか、イメージを実現しようと創造的に構想を練ることができているかを評価する。【定期テスト】から、材料や用具の特性を理解しているか、主題に沿った表現ができているかを評価する。
学びに向かう力・人間性	【毎時の振り返り用紙】から、学習に取り組む姿勢を評価する。【鑑賞ワークシート】【作品における感想】から、対象をしっかり観察し、よさや美しさを感じ取り理解しているかを評価する。【定期テスト】では作品に対する基礎知識を踏まえて、作品を深く理解しているかを評価する。

4・年間授業計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	オリエンテーション 今を生きる自分へ 【鑑賞】パブロ・ピカソ	・授業の取り組みの説明と評価について知る ・自分の姿を見つめて考えたことをもとに構想を練る ・ピカソの生涯や作品を鑑賞 ・作品に込められた想いを知る	・授業内容の流れを知り、一年の学習に意欲を持つ ・自分とは何か、自分と向き合い今を生きる意味を考える ・戦争や惨劇への怒りや悲しみが込められた、作者の訴えたい思いに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む
5	切り絵	・材料や道具の特性を知り、表現活動につなげる	・自分のイメージを広げ、構図や表現方法を工夫し、アイデアスケッチする
6			・自分のイメージを構図にし、作品制作に取り組む
7			・材料や道具の特性を理解し、美しく丁寧に、粘り強く制作する
9	【鑑賞】岡本太郎	・岡本太郎の生涯や作品を鑑賞	・芸術とは何かを自分なりに考察し、今後の生き方につなげる
10	堆朱	・堆朱の特性を知り、デザインする ・切削道具の種類や特徴を知り、活用して制作する	・伝統工芸を知り、制作する作品のイメージを掴む
11			・伝統的な形や色彩、材料などから自分なりの発想を広げてアイデアを出す
12			・限られた素材の大きさを生かし、色彩表現や立体表現につなげる ・材料や道具の特性を理解し、安全に効果的に活用する ・作品の良さや美しさ、作者の思いを自分なりに感じ取る
1	【鑑賞】雪舟 水墨画	・水墨作品を鑑賞し、水墨画の歴史や西洋との違いを学ぶ ・墨や水墨画の技法を知り、表現に生かす	・水墨画の歴史について理解を深め、制作する作品のイメージを掴む
2			・余白や墨の色彩の美しさを意識して画面構成する
3			・自分の心情や意図に応じた表現方法を使って、水墨画で表現する

※ 上記の内容は進度によって変更される場合があります